

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 04-365127

(43)Date of publication of application : 17.12.1992

(51)Int.Cl.

G06F 5/00

G06F 13/00

G06F 13/10

(21)Application number : 03-140529

(71)Applicant : NEC IC MICROCOMPUT SYST LTD

(22)Date of filing : 13.06.1991

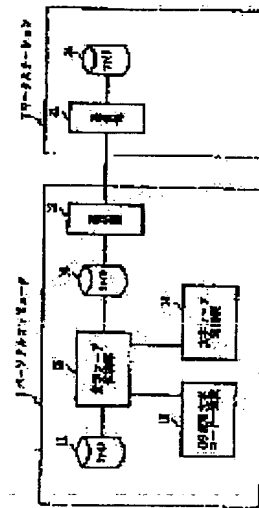
(72)Inventor : EZAKI MANABU

(54) CHARACTER DATA CONVERSION AND TRANSFER SYSTEM

(57)Abstract:

PURPOSE: To prevent a user from forgetting character code conversion by erroneous operation to prevent trouble like display disorder or the like by providing an operating system use character code list, a character code correspondence table, and a character code conversion part which converts a character code.

CONSTITUTION: The file name of a file 11 where character data, which is inputted by the user and should be converted and transferred, is stored and the OS name of the transfer destination are read in. A use character code list 13 is referred to confirm that the use character code of the OS in the read transfer destination is the 8-bit JIS code. Except at the time of the end of character data in the file, one unit of character data of the shift JIS code in the file 11 is read out. A character code correspondence table 14 is referred to read character data of the 8-bit JIS code corresponding to read character data of the shift JIS code. Read character code of the 8-bit JIS code is temporarily stored in a file 16.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's

Searching PAJ

decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平4-365127

(43) 公開日 平成4年(1992)12月17日

(51) Int. Cl. ⁵	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
G 0 6 F 5/00	A	9189-5B		
13/00	3 5 1 E	7368-5B		
13/10	3 3 0 B	7230-5B		

審査請求 未請求 請求項の数1(全 5 頁)

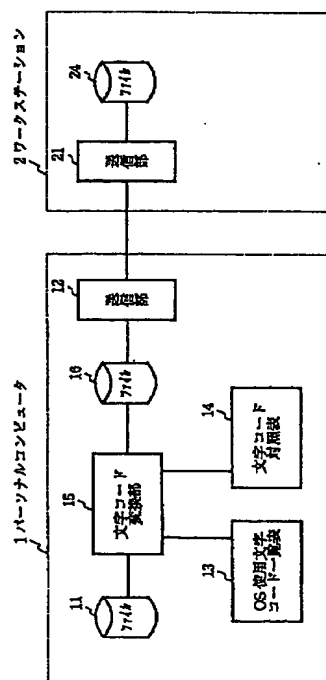
(21) 出願番号	特願平3-140529	(71) 出願人	000232036 日本電気アイシーマイコンシステム株式会社 神奈川県川崎市中原区小杉町1丁目403番53
(22) 出願日	平成3年(1991)6月13日	(72) 発明者	江崎 学 神奈川県川崎市中原区小杉町一丁目403番53日本電気アイシーマイコンシステム株式会社内
		(74) 代理人	弁理士 内原 晋

(54) 【発明の名称】 文字データ変換転送方式

(57) 【要約】

【構成】 システムが対象とする全てのOSの名称と対応する文字コードとの対照が記述されているOS使用文字コード一覧表13を備える。文字コード相互間を対照する文字コード対照表14を備える。文字コード対照表14により文字コードを変換する文字コード変換部15を備える。

【効果】 誤操作による文字データの変換忘れ等はないので転送元のOSの文字コードのまま転送先で処理されることもなくなり、文字コードのOS不適合による文字表示装置の表示乱れ等の不具合の発生を防止できる。システムが対象とする全てのOS相互間の転送に対応できる汎用性がある。



1

【特許請求の範囲】

【請求項1】 第一のオペレーティングシステムにおける第一の文字コードでコード化した第一の文字データを第二のオペレーティングシステムで動作する処理装置の前記第二のオペレーティングシステムにおける第二の文字コードでコード化した第二の文字データに変換し転送する文字データ変換転送方式において、前記第一および第二のそれぞれのオペレーティングシステムの名称と前記第一および第二のそれぞれのオペレーティングシステムにそれぞれ対応する前記第一および第二の文字コードとの対照が記述されているオペレーティングシステム使用文字コード一覧表と、前記第一の文字コードに対応する前記第二の文字コードが記述されている文字コード対照表と、前記第一の文字コードを前記文字コード対照表により前記第二の文字コードに変換する文字コード変換部とを備えることを特徴とする文字データ変換転送方式。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 本発明は文字データ変換転送方式に関し、特に異なるオペレーティングシステム(OS)で動作するコンピュータ間における文字データの変換および転送のための文字データ変換転送方式に関する。

【0002】

【従来の技術】 この種の文字データ変換転送方式の一例として、パーソナルコンピュータ等のOSとして広く用いられているマイクロソフト社開発のMS-DOSで動作するパーソナルコンピュータから日本語文字コードであるシフトJISコードによる文字データを、同様にパーソナルコンピュータから上位のコピュータ等のOSであるATT社開発のUNIXで動作しているワークステーションに転送するという例があげられる。この場合、シフトJISコードによる文字データをUNIXの日本語文字コードの一つである8ビットJISによる文字データに変換することが必要となる。

【0003】 従来の文字データ変換転送方式は、図3に示すように、転送された文字データを転送先において、転送先のOSの文字コードによる文字データに変換していた。

【0004】 図3において、従来の文字データ変換転送方式は、MS-DOSをOSとし転送対象のシフトJISコードによる文字データのファイル11とこれを転送する送信部12とを備えるパーソナルコンピュータ3と、UNIXをOSとし転送データを受信する受信部21と受信文字データを格納するファイル22と、受信文字データのシフトJISコードによる文字データを8ビットJISによる文字データに変換する文字コード変換部23と変換された文字データを格納するファイル24とを備えるワークステーション4とから構成されていた。

2

【0005】 次に、従来の文字データ変換転送方式の動作について説明する。

【0006】 図4は図3に示す従来の文字データ変換転送方式の動作を示すフローチャートである。

【0007】 図4において、まず、転送元のパーソナルコンピュータ3において、転送する文字データが格納されている文字データのファイル11のファイル名と、転送先のOS(UNIX)名を読み込む(ステップP1)。

【0008】 次に、ファイル11の内容を送信部11を介してワークステーション4に転送する(ステップP2)。

【0009】 ワークステーション4では、受信部21を介して転送されてきた文字データをファイル22に格納する(ステップP3)。

【0010】 次に、ファイル22に格納されたシフトJISコードによる文字データを読み出し、文字コード変換部23により8ビットJISによる文字データに変換して、ファイル24に格納する(ステップP4)。

【0011】

【発明が解決しようとする課題】 上述した従来の文字データ変換転送方式は、転送元のOSの文字コードのままの文字データを転送し、転送先で転送先のOSの文字コードによる文字データに変換していたので、誤操作による文字データの変換忘れ等により転送元のOSの文字コードのまま転送先で処理された場合には、文字コードがOSに不適合のため文字表示装置の表示乱れ等の不具合が発生するという欠点を有している。また、特定のOS相互間の転送の必要の都度個々にシステムを構築していたので汎用性がないという欠点を有している。

【0012】

【課題を解決するための手段】 本発明の文字データ変換転送方式は、第一のオペレーティングシステムにおける第一の文字コードでコード化した第一の文字データを第二のオペレーティングシステムで動作する処理装置の前記第二のオペレーティングシステムにおける第二の文字コードでコード化した第二の文字データに変換し転送する文字データ変換転送方式において、前記第一および第二のそれぞれのオペレーティングシステムの名称と前記第一および第二のそれぞれのオペレーティングシステムにそれぞれ対応する前記第一および第二の文字コードとの対照が記述されているオペレーティングシステム使用文字コード一覧表と、前記第一の文字コードに対応する前記第二の文字コードが記述されている文字コード対照表と、前記第一の文字コードを前記文字コード対照表により前記第二の文字コードに変換する文字コード変換部とを備えて構成されている。

【0013】

【実施例】 次に、本発明の実施例について図面を参照して説明する。

【0014】 図1は、本発明の文字データ変換転送方式

3

の一実施例を示すブロック図である。

【0015】本実施例は、前述の従来例と同様に、MS-DOSで動作するパーソナルコンピュータからシフトJISコードによる文字データを8ビットJISによる文字データに変換し、UNIX(4.3BSD)で動作しているワークステーションに転送するという例について説明する。

【0016】本実施例の文字データ変換転送方式は、図1に示すように、転送元であるパーソナルコンピュータ1と、転送先であるワークステーション2とを含んで構成される。

【0017】パーソナルコンピュータ1は、MS-DOSをOSとし転送対象のシフトJISコードによる文字データのファイル11と、このシステムが対象とする全てのOSの名称とこれに対応する使用文字データとの対照を記述した一覧表であるOS使用文字コード一覧表13と、シフトJISコードに対応する8ビットJISコードの記載を含むOS使用文字コード一覧表13に記載してある文字コード相互間を対照する文字コード対照表14と、文字コード対照表14により文字コード変換する文字コード変換部15と、変換した文字コード、ここでは、8ビットJISコードによる文字データを格納するファイル16と、ファイル16から順次読出しこれを転送する送信部12とを備えて構成される。

【0018】OS使用文字コード一覧表13の一例を表1に示す。

【0019】

OSの使用文字コード一覧表

OS名	使用文字コード
MS-DOS	シフトJIS
4.3BSD	8ビットJIS
SystemV	拡張UNIX
VMS	DEC漢字
ULTRIX	DEC漢字
:	:

【0020】ワークステーション2は、UNIX(4.3BSD)をOSとし転送データを受信する受信部21と、受信文字データを格納するファイル24とを備えて構成される。

【0021】次に、本実施例の動作について説明する。

【0022】図2は、図1で示した本実施例の動作を説明するフローチャートである。

【0023】まず、利用者により入力された文字データ変換転送する文字データが格納されているファイル11のファイル名称と転送先のOS(マシン)名を読込む。ここでは、ファイル名称をMS-DOS、JXW、また、転送先のOS名をUNIXのバージョンの一つである4.3BSDとする(ステップS1)。

【0024】次に、使用文字コード一覧表13を参照して読込んだ転送先のOSの使用文字コードを8ビットJISコードであることを認識する(ステップS2)。

4

【0025】次に、ファイル11の文字データが終りであるかどうかのチェックをする(ステップS3)。ノーの場合は、ステップS4に進みファイル11のシフトJISコードの文字データの単単位を読出す。

【0026】次に、文字コード対照表14を参照し、ステップS4で読出したシフトJISコードの文字データに対応する8ビットJISコードの文字データを読取る(ステップS5)。

【0027】次に、読取った8ビットJISコードの文字データをファイル16に一時格納する(ステップS6)。

【0028】以上のステップS3～S6の処理をファイル11の文字データの終りまで継続する。

【0029】次に、ステップS3でイエスすなわちファイル11の文字データが終りであれば、データ転送処理に分歧し、予め入力したシステム情報により、相互のOS間の接続形態を認識し(ステップS7)。

【0030】最後に、ファイル16に一時格納したデータを送信部12を介して転送先のワークステーション2に転送して全ての処理を終了する(ステップS8)。

【0031】

【発明の効果】以上説明したように、本発明の文字データ変換転送方式は、システムが対象とする全てのオペレーティングシステムの名称と対応する文字コードとの対照が記述されているオペレーティングシステム使用文字コード一覧表と、文字コード相互間を対照する文字コード対照表と、文字コード対照表により文字コードを変換する文字コード変換部とを備えることにより、誤操作による文字データの変換忘れ等はないので転送元のOSの文字コードのまま転送先で処理されることもなくなり、文字コードのOS不適合による文字表示装置の表示乱れ等の不具合の発生を防止できるという効果を有している。また、システムが対象とする全てのOS相互間の転送に対応できる汎用性があるという効果を有している。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の文字データ変換転送方式の一実施例を示すブロック図である。

【図2】本実施例の文字データ変換転送方式における動作の一例を示すフローチャートである。

【図3】従来の文字データ変換転送方式の一例を示すブロック図である。

【図4】従来の文字データ変換転送方式における動作の一例を示すフローチャートである。

【符号の説明】

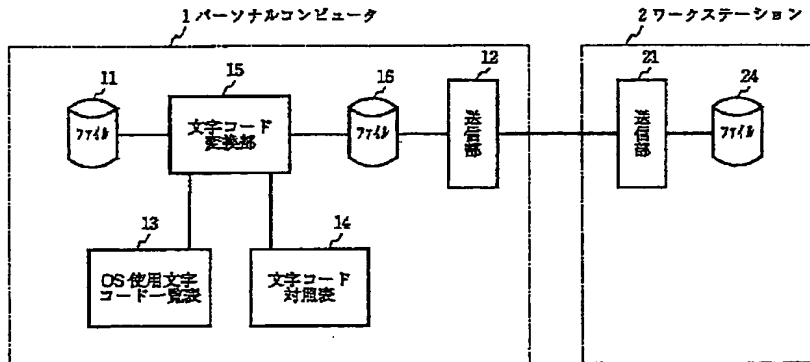
- 1, 3 パーソナルコンピュータ
- 2, 4 ワークステーション
- 11, 16, 22, 24 ファイル
- 12 送信部
- 13 OS使用文字コード一覧表

14 文字コード対照表

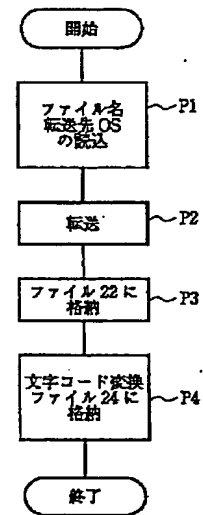
21 受信部

15, 23 文字コード変換部

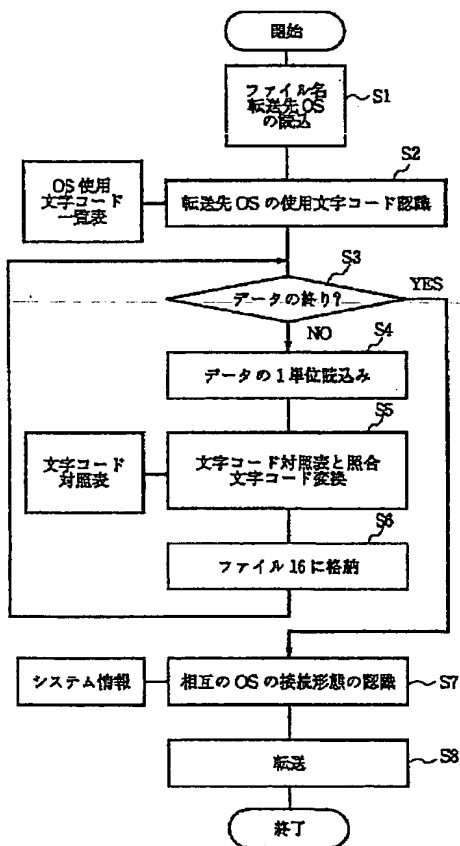
【図1】



【図4】



【図2】



【図3】

